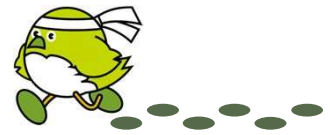


小学校用追加ページ 活用のポイント



①行事・特別活動の記録用……3種類

①「めあて」と「具体的な行動」の設定

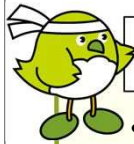
- ・行事や特別活動の取組初めに設定する項目。
- ・「めあて」だけでなく、振り返りのポイントになる具体的な行動を考えさせる。

②取組状況を振り返る

- ・行事や特別活動の取組終わりに自分の変容や成長について振り返る項目。
- ・自分で設定した具体的な行動に対してどのように取り組めたかについて振り返らせる。

③今後の目標設定

- ・この行事の振り返りから、今後の目標を設定させる。



POINT!

- ・取組の前後を記録して、自身の変容や成長を自覚できるような記録にする。
- ・振り返りのときに達成できたかどうかを判断できるように行動の目標を具体的に設定させる。

②私のあこがれの人……高学年用

学習や生活の中で出会った人々について考えるページ。

- ・2、4年生は「キャリア・ノート」に掲載されている。
- ・高学年では、6年生の「自分を知ろう」の中に、「将来の夢やしてみたい仕事」について考える欄があるので、そこと関連させることも考えられる。
- ・1、3、5年生で「あこがれの人」について考えさせたときは、この様式を参考に、学年の実態に合わせてアレンジして活用すること。



POINT!

- ・「あこがれ」とは言えなくても、興味を持った人や感謝している人なども考えられる。
- ・思ったこと感じたことを今後の行動につなげて考えさせる。
- ・行動することで、どのような変化があるのかを考えさせる。



③「18歳の私へ」9年間の振り返りの記録用……6年生

18歳の私へ 記入日 月 日 曜日
～小学校1年から中学校3年までの9年間～

○小学校6年間で一番心に残っていることを、18歳の私へ伝えよう。

○中学校3年間で一番心に残っていることを、18歳の私へ伝えよう。

○将来の自分を想像しよう。
どんな人になりたいか そう夢った理由やきっかけ

【先生からのメッセージ】

1

2

義務教育9年間の振り返るとともに、これまで書き留めてきた内容を見返しながら、18歳の自分に向けてメッセージを書くページ。

- ①小学校6年生時に、小学校6年間の振り返って18歳の自分へのメッセージを書く項目。
- ②中学校3年生時に、中学校3年間の振り返って18歳の自分へのメッセージを書く項目。
- 小学校の時に記録をする必要がある。

中学校用追加ページ 活用のポイント



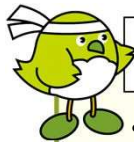
①学期ごとの振り返り記録用……各学年

学期ごとの自分を振り返り、自身の変容や成長を実感するページ。

- 2期制の場合も長期休暇前で振り返ることができる。
- 学校生活全体及び、家庭、地域における学びを含む内容となるように構成している。

- ①教科での学習
- ②教科外での学習
- ③学校外の活動

などを含めた見通しや振り返りができる内容。



POINT!

- 年度始めに立てた目標に対して振り返りを行い、なりたい自分に向かって、目標を見直し、今後、取り組むことや、具体的な行動を決定する。

②3年生の振り返り記録用……3年生

学年末(2月ごろ)に、これまでの自分を振り返り、自身の変容や成長を実感(自己評価)するページ。

- 「キャリア・ノート」には中学校3年間を振り返るページが掲載されているので、3年生の1年間を振り返りたいときに活用する内容。
- 中学校3年間を振り返る前に、今年一年はどうだったか振り返って1、2年の記述と比べることなどが考えられる。
- 活用のポイントについては、「キャリア・ノート」の指導・活用の手引きの1、2年生を参考にすること。

③職場体験学習に向けて……1～2年

職場体験学習に向けて、考えたり調べたりしたことを書くページ。

- 学級活動(3)のイ「社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」の学習等と関連付けて指導すると効果的である。
- ①職場体験前に、身近な先輩(第3学年の生徒や卒業生等)からの話を聞く機会を設けることが考えられる。
- ②各学校が持っている事業所等の情報も示すようにする。
- ③「大人からのメッセージ」では、働くとはどういうことか、職場体験で生徒に期待することなど、記入者自身の経験を踏まえて書くようにする。

